

Q5 いつまでに実行していくの？

A 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、岩手県の「岩手県ふるさと振興総合戦略」にあわせて、田野畠まち・ひと・しごと創生総合戦略は平成27年度(2015)から平成31年度(2019)までの5年間とします。

田野畠村人口ビジョンは平成27年度(2015)から平成52年度(2040)までとします。

計画	H27	H28	H29	H30	H31	～	H52
まち・ひと・しごと創生総合戦略							
岩手県ふるさと振興総合戦略							
田野畠村まち・ひと・しごと創生総合戦略							
田野畠村人口ビジョン							

Q6 他の計画との関係は？

A 田野畠村の「田野畠村総合計画（平成23～32年度）」を上位計画として、総合計画の方向性を踏まえた人口減少対策の戦略として位置づけられています。このため、本年度策定中の「後期基本計画」との整合を図りながら、一体的に進めていきます。

U・Iターンの促進や村在住者の定着を促進させていくためには、田野畠村の魅力再発見・イメージアップを図り、住民自らが『地域への誇り』を醸成していくこと、そのための地域力向上に向けて5つの基本目標に即した事業を展開していくことが大切です。

U・Iターンの促進 村在住者の定着

住民の『地域への誇り』の醸成

地域資源を活かした新たな雇用の創出

特徴的な生業
体験型観光
独自の文化・芸能

広域圏における協力・連携の推進

地域を支えるU・Iターンの促進

結婚・出産
子育て環境の支援

地域づくり
地域コミュニティの充実

保育環境に満足している親御さんが多い一方で、医療には不安を抱えているのね…

村で働きたい、住み続けたいと思う子供たちが多いのは心強いね。

移住

その想いに応えられるような環境づくりを協力して進めていきたいですね！

医療

広域連携などで医療の不安を解消するなどの事業を考えられているね。

就職

保育

観光

平成28年3月

〒028-8407 岩手県下閉伊郡田野畠村田野畠 143-1
TEL 0194-34-2111 FAX 0194-34-2632



田野畠村

人口ビジョン&まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】

Q1 人口ビジョン&まち・ひと・しごと総合戦略って？

A 国の定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて、村における人口減少の原因を明らかにした上で、そこからわかる地域課題の解決策と、魅力あふれる田野畠を創るために事業計画を示したもの。



Q2 今のままだと、村の人口はどうなっていくの？

A 現状維持だと、10年後には3,000人を割り、約25年後の2,040年には約2,000人となる計算です。

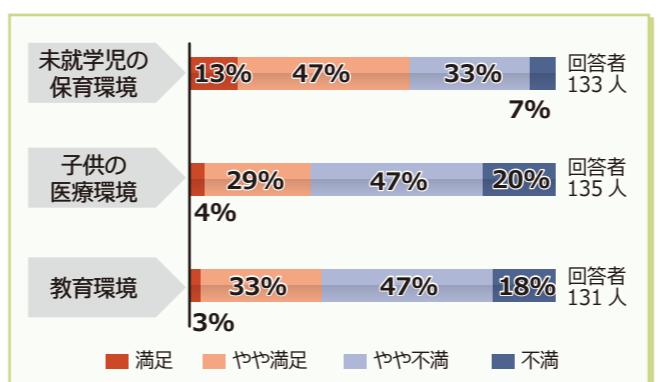


Q3 村の人たちは、村の「今」と、「将来」をどう考えているの？

A 7月から8月にかけて、村民、村出身者を対象に行ったアンケート調査やヒアリング調査の結果、主に以下のように考えていることがわかりました。

子育て環境の満足度

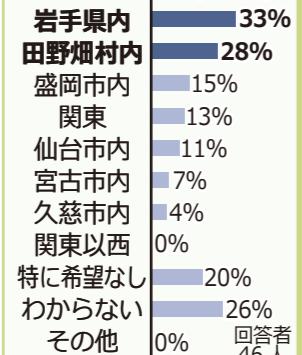
子供の保育環境については、「満足」と「やや満足」を合わせると60%になり、比較的満足度が高い結果となりました。子供の医療環境及び教育環境は、「満足」と「やや満足」を合わせても、それぞれ4割未満で、特に夜間や緊急時に病院が遠い等の課題があることが浮かび上がってきた。



中学生の進路

将来働きたい場所は「岩手県内」、次いで「田野畠村」が多く、6割前後が今後も「住み続けたい」と答え、一度出ても戻りたいかという問には、「そう思う」「ややそう思う」をあわせると8割を超える回答となりました。

働きたい場所(男子)



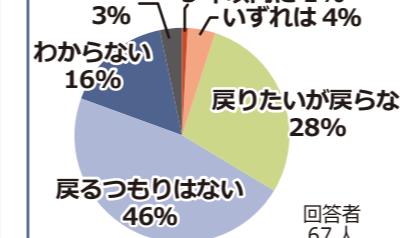
働きたい場所(女子)



ふるさと回帰の可能性

村を出た出身者へ、村へ戻る意思があるかという問い合わせに対しては、「3年内に戻りたい」「いずれ戻りたい」が5%、「戻りたいが戻らない」が28%となった。

その他 3% 3年内に1% いずれは4%



戻りたい理由

- 田野畠が好きだから 50%
- 自然など環境が良いから 38%
- お墓があるから 31%
- 親がいるから 31%

移住・定住の促進

自治会へのアンケート結果から、空いた教員住宅等を村営住宅として活用するなどのほか、村と民間とで協力して住宅を確保すれば、潜在的に需要があると地域では感じられていることがわかりました。

Q4

人口減少を抑えるために、どんな取り組みを進めるの？

A

これまで調査した人口減少の実態やアンケートの結果から、以下のように大きく5つの基本目標を設定して、それぞれに具体的な事業を設定し、それぞれの事業について具体的な目標指標を設定しました。これら目標達成のため、行政・民間企業・住民などが一体となって活動していくことで、魅力ある田野畠村を作っていくきます。

基本目標

主な施策

評価指標

将来目標

地域資源を活かした 新たな雇用の創出

地域を支える U・Iターンの促進

結婚・出産・子育て環境の 支援

地域づくり・地域コミュニティの 充実

広域圏における 協力・連携の推進

●一次産業後継者育成事業

一次産業従事者（OB含む）が意欲ある者を対象に技術・ノウハウを継承する取り組みを支援する。

●6次産業化モデル事業

特定の地域（団体）をモデル的に集中支援し、支援ノウハウ・成果を他の地域（団体）へは急展開させる。

●観光推進体制の強化

観光情報の発信や、新たな観光商品の開発を推進する。観光客の入込数を増やし、観光業従事者の増を図る。

●道の駅たのはたの機能強化 (移転リニューアル等)

●第三セクターの経営強化

村内の第三セクターの経営強化を図る（北日本銀行及び外部専門機関と連携）

●企業誘致活動

光プロードバンド網の整備を受け、ICT企業等新たな分野を対象に誘致活動を行う。

●U・Iターン受け入れ環境の整備

コーディネーターを配置し、空き家情報の収集や各地域の意向調査等を行う。

●居住環境の向上

空き家修繕費補助の強化を図る。

●観光推進体制の強化（再掲）

●懐かし村民制度の充実強化

制度のPRや提供商品を見直し、加入者の拡大を図る。

●田野畠村の魅力情報発信の強化

村への関心度を高めるため、村の観光・生業・伝統文化等、地域の魅力について戦略的に情報発信をおこなう。



●出産・子育て支援策の充実

*乳幼児から高校生の医療費無料
*保育所・児童館の利用料無料（給食費除く）

*妊婦健診無料化・不妊治療への助成

*子育て世帯へのケア、サポート体制の強化

*小中連携（一貫）教育の推進（授業へのICT導入、異文化交流の推進等）

*教材費の一部助成（小中学校）
*奨学金制度の拡充検討

●若者交流イベント等の開催

同世代で交流する機会を創出するため、イベントや異業種交流等を開催する。



●地域づくり実践活動への支援

*村内6地区における主体的な地域づくり実践活動の展開及び情報発信

*地域コミュニティと行政の連体制の再構築（地域協働隊職員制度の見直し等）

●集落圏ネットワークの形成

各集落を支える生活サービスや地域活動を繋ぐための拠点施設（役場、道の駅、多機能型店舗等）の配置・機能について検討するとともに、交通体系の充実を図る。



●広域連携の検討

「医療」、「観光」、「雇用」、「交通」等、広域連携による相乗効果が見込まれる施策について、観光市町村と健闘する場を設ける。



- 起業・創業者数 2社
- 新商品開発数 10件
- 体験観光者数 13,000人/年
- 道の駅たのはた
利用者数 45,000人/年
- 村内企業新規雇用者数 75人

- U・Iターン者用
住宅整備個数 20戸
- U・Iターン者数 200人
- 懐かし村民登録者件数 200件/年
- 村ホームページ
アクセス数 425,000回/年

- 保育所・児童館入所
希望者充足率 100%
- 奨学金利用件数 3件/年
- 若者交流イベント等の
参加者数 30人/回

- 地域づくり実践活動 10件/年
- 地域情報発信件数 6地区

- 広域連携事業数 3事業

2040年人口目標：3,000人

- 合計特殊出生率を2.07以上の水準で維持
- 小学生126人、1学年平均20人以上

- 人口の1%（39人）移住を毎年促進
- 生産人口が老人人口より多い状態を維持

